



岩手県立盛岡峰南高等支援学校

～生きがいある豊かな生活の実現～

令和7年度 岩手県高等学校教育研究会特別支援教育部会講演会

演題「学校生活への不適応が見られる生徒の理解と教職員の対応について」

令和7年8月6日（水）、岩手県高等学校教育研究会特別支援教育部会講演会を開催しました。

講師に日本女子大学特任教授の山本奨先生をお招きし、「学校生活への不適応が見られる生徒の理解と教職員の対応について」という演題でご講演いただきました。

講演では、課題のある生徒に対応する際のアセスメントの重要性や、支援の方向性を考える上で有効な視点などについて、事例を交えながら具体的にお話をいただきました。

参加した方々からは、「アセスメントとして見るべき部分、考えるべき部分が明確になりました。」「行動療法の4理論のモデルや職業興味を3つの組合せでアセスメントする内容等について分かりやすく説明していただき、休み明けの生徒支援の活用場面で実践してみたいと思います。」「アセスメントは普段の会話から始まるということ、日常からさまざまなヒントが生まれることが分かりました。」など今後の実践に役立てていきたいという感想を多くいただきました。

